

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【公開番号】特開2010-195(P2010-195A)

【公開日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2008-160655(P2008-160655)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

超音波プローブを介して超音波を送受信する送受信手段と、  
受信した前記超音波を基に超音波画像を生成する画像生成手段と、  
表示手段に表示されているポインタを移動させるための移動情報を入力するポインティングデバイスと、

前記表示手段に、患者情報及び／又は検査情報の入力欄及び特定の機能を担うソフトキーが設けられた入力画面、並びに前記ポインタを表示させるとともに、前記移動情報を基に前記ポインタを移動させる表示制御手段と、

速度閾値、及び前記入力画面上の所定位置と前記ソフトキーとの対応を予め記憶している記憶手段と、

前記移動情報を受け、前記ポインタの移動速度を求め、前記ポインタが前記所定位置に移動したときに、前記移動速度が前記速度閾値を超えている場合に、前記所定位置に対応する前記ソフトキーの位置に前記ポインタを移動させるポインタ管理手段と、

を備えることを特徴とする超音波診断装置。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、前記入力画面上の点の座標情報を有しており、前記入力画面上における前記ポインタの前記座標情報を前記ポインタ管理手段に出力し、

前記ポインタ管理手段は、前記入力画面の辺の前記座標情報を閾値として記憶しており、前記ポインタが前記入力画面の外に移動することで前記ポインタの前記座標情報が前記閾値を超えたときに、前記ポインタが前記所定位置に移動したと判断する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の超音波診断装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段により複数の前記ソフトキー及び前記ポインタが前記表示手段に表示されている場合に、

前記ポインタ管理手段は前記入力画面の辺を複数の領域に分割して記憶しており、さらに該複数の領域と前記複数のソフトキーとの対応を記憶しており、前記ポインタが前記領域の一つに移動した場合、該領域に対応する前記ソフトキーの位置に該ポインタを移動させることを特徴とする請求項 2 に記載の超音波診断装置。

【請求項 4】

前記ポインティングデバイスはトラックボールであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一つに記載の超音波診断装置。

【請求項 5】

超音波プローブを介して超音波を送受信する送受信手段と、

受信した前記超音波を基に超音波画像を生成する画像生成手段と、

表示手段に表示されているポイントを移動させるための移動情報を入力するポインティングデバイスと、

前記表示手段に患者情報及び／又は検査情報を入力するための複数の入力欄を有する入力画面及び前記ポイントを表示させるとともに、前記移動情報を基に前記ポイントを移動させる表示制御手段と、

前記入力画面の表示中に前記ポイントの移動方向の入力を受け、該移動方向の先にある最も近い前記入力欄に前記ポイントを移動させるポイント管理手段と、

を備えることを特徴とする超音波診断装置。

【請求項 6】

超音波プローブを介して超音波を送受信する送受信手段と、

受信した前記超音波を基に超音波画像を生成する画像生成手段と、

表示手段に表示されているポイントを移動させるための移動情報を入力するポインティングデバイスと、

前記表示手段に、患者情報及び／又は検査情報の入力欄及び特定の機能を担うソフトキーが設けられた入力画面、並びに前記ポイントを表示させるとともに、前記移動情報を基に前記ポイントを移動させる表示制御手段と、

前記入力画面上に表示された前記ソフトキーの周りの領域の座標を予め記憶している記憶手段と、

画面上における前記ポイントの位置の入力を受け、前記周りの領域内にポイントが移動したときに、前記ソフトキーに前記ポイントを移動させるポイント管理手段と、

を備えることを特徴とする超音波診断装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の超音波診断装置は、超音波プローブを介して超音波を送受信する送受信手段と、受信した前記超音波を基に超音波画像を生成する画像生成手段と、表示手段に表示されているポイントを移動させるための移動情報を入力するポインティングデバイスと、前記表示手段に、患者情報及び／又は検査情報の入力欄及び特定の機能を担うソフトキーが設けられた入力画面、並びに前記ポイントを表示させるとともに、前記移動情報を基に前記ポイントを移動させる表示制御手段と、速度閾値、及び前記入力画面上の所定位置と前記ソフトキーとの対応を予め記憶している記憶手段と、前記移動情報を受け、前記ポイントの移動速度を求め、前記ポイントが前記所定位置に移動したときに、前記移動速度が前記速度閾値を超えている場合に、前記所定位置に対応する前記ソフトキーの位置に前記ポイントを移動させるポイント管理手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 5 に記載の超音波診断装置は、超音波プローブを介して超音波を送受信する送受

信手段と、受信した前記超音波を基に超音波画像を生成する画像生成手段と、表示手段に表示されているポイントを移動させるための移動情報を入力するポインティングデバイスと、前記表示手段に患者情報及び／又は検査情報を入力するための複数の入力欄を有する入力画面及び前記ポイントを表示させるとともに、前記移動情報を基に前記ポイントを移動させる表示制御手段と、前記入力画面の表示中に前記ポイントの移動方向の入力を受け、該移動方向の先にある最も近い前記入力欄に前記ポイントを移動させるポイント管理手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

請求項６に記載の超音波診断装置は、超音波プローブを介して超音波を送受信する送受信手段と、受信した前記超音波を基に超音波画像を生成する画像生成手段と、表示手段に表示されているポイントを移動させるための移動情報を入力するポインティングデバイスと、前記表示手段に、患者情報及び／又は検査情報の入力欄及び特定の機能を担うソフトキーが設けられた入力画面、並びに前記ポイントを表示させるとともに、前記移動情報を基に前記ポイントを移動させる表示制御手段と、前記入力画面上に表示された前記ソフトキーの周りの領域の座標を予め記憶している記憶手段と、画面上における前記ポイントの位置の入力を受け、前記周りの領域内にポイントが移動したときに、前記ソフトキーに前記ポイントを移動させるポイント管理手段と、を備えることを特徴とするものである。